

広報誌・外部広告等実績

実施日	掲載元
2023年6月～	大阪府 府公式HP、Facebook、健康づくり課X
2023年11月1日(水)	大阪市 食育推進ネットワーク情報誌
2023年12月1日(金)	大阪府 府政だより 令和5年12月号
2024年4月22日(月)	大阪市 大阪市ホームページ(報道発表)
2024年4月30日(火)～5月31日(金)	大阪市 各区保健福祉センター、保健所、本庁舎、各区図書館、各区スポーツセンター(チラシ配布・ポスター掲示)
2024年4月30日(火)	近畿農政局「近畿農政局 月刊情報紙 新鮮mini情報」2024年5月号
2024年5月	大阪市 各区広報誌 令和6年5月号
2024年5月	大阪市 OSAKA CityTV (インターネット配信)
2024年5月	JA大阪中央会 JA大阪5月号
2024年5月1日(水)	Instagram(やさいTABE店)、大阪市広報X(投稿)
2024年5月1日(水)	一般社団法人大阪府私立幼稚園連盟 大阪府私立幼稚園連盟加盟園(チラシ配布)
2024年5月1日(水)	がんこフードサービス がんこフードサービス株式会社 各店舗(ポスター掲示、チラシ配架)
2024年5月1日(水)	健活10ポータルサイト、アスマイル(投稿)
2024年5月1日(水)～5月31日(金)	大阪市 Osaka Metro22駅構内掲示板(ポスター掲示)
2024年5月1日(水)～5月31日(金)	大阪市 イオンモール大阪ドームシティ(わが街NAVIデジタルサイネージ)
2024年5月1日(水)～5月31日(金)	茨木市 広報いばらき5月号
2024年5月8日(水)～6月1日(土)	岸和田市 岸和田市HP
2024年5月15日(水)～6月2日(日)	大阪府 府庁本館1階、別館1階(ポスター掲示)
2024年5月15日(水)～6月2日(日)	大阪府 府庁新別館地下通路(ポスター掲示)
2024年5月21日(火)	大阪市 Facebook「たべやん通信」
2024年5月24日(金)	大阪府 公式LINE
2024年5月25日(土)	太子町 公式LINE
2024年5月27日(月)	日本栄養士会 HP
2024年5月29日(水)	熊本県大阪事務所 X
2024年5月30日(木)	茨木市 公式X、公式Facebook
2024年6月2日(日)	大起水産株式会社 X
2024年6月10日(月)	地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所(環農水研) 食品経済新聞 第1773号
2024年6月10日(月)	和泉市保健センター 和泉市HP
2024年6月17日(月)	甲南女子大学 HP・ブログ・Instagram
2024年7月	太子町「広報たいし7月号」
2024年7月	JA大阪中央会 JA大阪7月号
2024年7月1日(月)	一般社団法人大阪府農業会議 大阪農業時報
2024年7月5日(金)	一般社団法人大阪府農業会議 全国農業新聞
2024年7月10日(水)	ヤクルト本社「ヘルシスト」J286号(令和6年7月10日発行)
2024年7月12日(金)	alic農畜産機構 広報消費者課 Youtube
2024年7月12日(金)	日本栄養士会「日本栄養士会雑誌」7月号
2024年7月21日(日)	日本農業新聞
2024年8月	大阪府栄養士会 栄養大阪2024年8月号

記載は広報活動の一例。第19回食育推進全国大会大阪府実行委員会構成団体を中心にチラシの配布・ポスター掲示を行った。

新聞記事(掲載の一部を抜粋) ※記事等については、各社の承諾を得て転載しております。

5月9日 日本農業新聞

味わって体験して 食育推進へ

農水省は6月1、2の両日、第19回食育推進全国大会を大阪市内で開く。ステージイベントやスタンブラリーなどの体験活動を通じて、来場者に楽しく食育への理解を深めてもらう狙い。大阪府、大阪市などとの共催。

農水省は毎年6月を「食育月間」とし、食育の普及に取り組んでいる。大会を皮切りに、食育推進運動を勢いづけたい考えだ。会場では、たこ焼きやいか焼き

など、大阪ならではの食が楽しめる他、著名人のトークショーやマグロの解体ショーなど、世代を問わず楽しめるイベントがめじろ押し。仮想現実(VR)による飛行体験など、一足先に大阪・関西万博の気分を感じられるコーナーも設ける。

大阪南港A.T.Cホールで、1日が午前10時～午後5時、2日が午前10時～午後4時。一部イベントはオンラインでライブ配信予定。

来月1、2日 大阪で大会

5月23日 日本農業新聞

食育活動 北陸2団体全国表彰

農政局長賞は4組が受賞

【いしかわ】「食育 食育活動が表彰され、北陸農政局管内から富山、福井県の2団体が全国表彰を、新潟・富山、石川県の4団体が北陸農政局長賞を受け、既に全国表彰が公表された他、北陸農政局長賞は2日、受賞団体が決まった。

全国表彰は、ともに子ども料理教室に取り組み団体。キッズ・サポーター(福井県小浜市)が農水大臣賞、なめりかわ食育サポーターの会(富山県滑川市)が農水省消費・安

食育活動が表彰され、北陸農政局管内から富山、福井県の2団体が全国表彰を、新潟・富山、石川県の4団体が北陸農政局長賞を受け、既に全国表彰が公表された他、北陸農政局長賞は2日、受賞団体が決まった。

全国表彰は、ともに子ども料理教室に取り組み団体。キッズ・サポーター(福井県小浜市)が農水大臣賞、なめりかわ食育サポーターの会(富山県滑川市)が農水省消費・安

い」は午後1時半から、北陸農政局はオンライン参加の希望を6月17日までウェブサイトで受け付けている。

6月1日 日本農業新聞

名古屋学芸大学 食育学習ゲーム

【あいち】愛知県日進市にある名古屋学芸大学は、食育教材のボードゲームの制作に力を入れている。楽しみながら、栄養や農業などについて学べる内容。1、2月に大阪府で開かれる食育推進全国大会で学生が開発したゲームを展示、紹介する。同大の参加は3大会連続。

同大は2015年に管理栄養学部とメディア造形学部などの学生がそれぞれの専門性

を生かし食育の体験型ゲームを開発した。ゲームをしながら主食、主菜、副菜の役割を学ぶもので、同年に愛知県で開かれた食育推進全国大会で体験ブースを設けた。23年の富山大会には、これを発展させたボードゲーム「シャベール冒険記」を出展した。

その後、同大健康・栄養研究所研修生の宇佐見加奈さんが中心になって新たなボードゲーム「ノウカサバイバー」を開発した。地球環境などを考えながら農場経営をすることで農業の現状や社会問題を学ぶゲーム。東海農政局などが開発に協力した。昨年12月には富山県内の小学校の授業で取り入れられ、大阪大会に出展することになった。

宇佐見さんは「一番のコンセプトは遊びながら学ぶこと。楽しいから学びたくなる。学びの入り口となるボードゲームを今後も作っていきたい」と話す。

6月2日 日本農業新聞

楽しく広めよう 食育の理解

大阪で推進大会「持続可能」に注目

農水省や大阪府などは1日、「ワクワクXPO with 第19回食育推進全国大会」を大阪市内で開いた。企業・団体などが180のブースを出展。多くの市民が訪れ、体験や展示、トークショーなどを通じて食への理解を深めた。万博を来年に控え、持続可能な食環境づくりにむけ目を見まわった。約2万6000人の来場を見込む。大阪府での開催は2008年の第1回大会から18年ぶり。県会に当たり、大阪府の山村伸文知事は「心と体の健康をつくる食育の理解を、楽しく広げていきたい」とあいさつ。農水省の高橋光男政務官は、食育の推進を呼びかけた。往昔を偲んだのは、和歌山県古座川町でジビエ(野生鳥獣の肉)を加える古座川ジビエ、エ山の光工場のブライス、同町では獣害が課題となっている、ソーセージの試食でジビエのおいしさを紹介しながら、狩猟者や加工産物の魅力を発信した。

設は「農業に必要な存在」(鈴木貴裕農政副長)と訴えた。牛乳パックのリサイクル率向上を目指す全国牛乳資源循環協議会では、パックの原料や回収後の工程を紹介し、名古屋学芸大学は、環境負荷低減の視点を取入れた、農業経営のシミュレーションボードゲームの体験を用意した。

大会には、JA大阪中央会やJAグループ和歌山JAわかやま、全国農産物光協会も出展し、試食や野菜作り体験などを通じて農業の魅力を発信した。